



FŪ

EN

楓園

CONTENTS

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1— 特集 東洋英和のハンドベル | 9— 中高部 NEWS |
| 5— この人に聞く 福島 光加 | 11— 大学 NEWS |
| 6— 聖書の言葉・英和探訪 | 15— 学院 NEWS |
| 7— 東洋英和幼稚園 NEWS・かえで幼稚園 NEWS | 18— 行事報告 3月～5月 |
| 8— 小学部 NEWS | 19— 英和の植物通信・お知らせ |



■ 高等部ハンドベル部による演奏

“天使のハーモニー”と言われる美しい音色のハンドベル。大きささまざまなベルを鳴らします。大きなベルは約4kgもあります。

神への賛美 音楽の奉仕

東洋英和のハンドベル

だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。

コリントの信徒への手紙一 十二章二〇節

東洋英和でハンドベルが演奏されるようになってからすでに三〇年。その澄んだ美しい音色は多くの人々の心に響いてきました。ハンドベルの歴史から英和での活動の広がりについて、スタート時からハンドベルの指導にあたっていらつしやる河野和雄先生（元中高校音楽科教諭、現学院オルガニスト）にお話をうかがいました。

教会の楼鐘が誕生のルーツ

ハンドベルは一七世紀にイギリスで生まれた楽器である。教会の鐘楼の鐘は、イギリスでは一定の順番に従って鳴らされることが多い。「チェンジ」と呼ばれるこの方法に非常に複雑な工夫がなされた時代があった。その順番を覚えるために実際の鐘を鳴らさなくても室内でも練習出来るように、「手にもって鳴らすベル」考案された。やがて「チェンジ」の練習だけでなく、簡単な讃美歌や民謡を演奏するようになり、ベルの音域も広がっていった。

その後ハンドベルがアメリカ大陸に渡るとその音楽はさらに発展し、楽器は改良され、様々な演奏法が考案され、演奏する曲の分野もさらに広がっていった。

教会や宣教師から日本に広まる

「日本ハンドベル連盟二十年の歩み」によれば、わが国で初めてハンドベルが公の場で響いたのは一九六四年九月、東京

日比谷公園で開かれた第十二回教会学校生徒大会で台湾の神学校のグループが演奏したのが初めてであるそうだ。

その後わが国におけるハンドベルの活動の発展には二つの流れがあった。一つは東京の大井バプテスト教会の大谷レニの活動で、六七年に二オクターブのベルで付属幼稚園の教諭たちをメンバーに活動を始めた。もう一つは名古屋の金城学院の宣教師M・I・ケリーによるもので七〇年に三オクターブのベルが中学校のオーケストラ部員の手によって鳴らされハンドベルクワイアの活動が始まった。その後ハンドベルはキリスト教主義学校を中心として広まっていった。

英和の中高部で初めてベルが鳴る

東洋英和のハンドベルの歴史は先ず中高校から始まった。一九七八年四月に二オクターブのベルが備えられ、早速、高等部三年音楽の選択授業で使われた。

また音楽部の中にハンドベル班を作り、外村ゆり先生（現音楽科教諭武田ゆり先生）の指導のもとに

生）の指導のもとに五人のメンバーをもってクラブ活動も始まった。礼拝時の演奏のほか、六月には七六年に創立されたばかりの日本ハンドベル連盟に加盟し、早速青山学院で行われた第二回の全国フェスティバルに参加した。夏休みには野尻キャンパスで選択プログラムの一つとして練習し、近くの信越病院に行つて演奏した。秋には杉並の幼稚園へ演奏奉仕に出かけている。このようにベルの活動は当初からとても活発なものであった。

翌七九年四月には、音楽部ハンドベル班はハンドベル部として独立し、正式なクラブとして発足した。今年が発足三〇周年ということになる。クラブ発足と同時にベルも三オクターブに増やされた。メンバーも次第に増え楽器が足りなくなってきた頃、母の会から三オクターブのベルの寄贈を受

けた。メンバーも次第に増え楽器が足りなくなってきた頃、母の会から三オクターブのベルの寄贈を受



国際ハンドベル・シンポジウムに初参加（1992年カナダ・エドモントンにて）

け、その後何年かにわたつて、学校や生徒会の予算によつて大きなベルも順次購入され次第にベルは増えていった。現在は五オクターブのセットが二セット、四オクターブが一セット、そして三オクターブのハンドチャイムも一セット備えられている。最初五人から始まったクラブも現在では中高生合わせて常時七〇名以上いる大きなクラブとなっている。礼拝や楓祭、クリスマス音楽会、学校説明会での演奏など学内での活動のほか教会、学校、幼稚園、福祉施設などでの演奏奉仕もハンドベル部の大切な活動となっている。この三〇年間には箇所にして百カ所以上、延べにすれば数百回の奉仕を行っている。

世界大会参加 演奏旅行も

ハンドベル部の活動は海外にも及んだ。一九九二年、カナダ・エドモントンにおいて行われた国際ハンドベル・シンポジウム（世界大会）に初めて参加

東洋英和のハンドベルグループ	
エンジェル・リンガーズ (小学部)	
中高部ハンドベル部	
エバーグリーン (大学)	
メイプル・リンガーズ (中高部OG)	
エーデル・リンガーズ (中高部OG)	
Carillonneuses K (中高部OG)	
ガーネット・リンガーズ (中高部母の会)	
楓リンガーズ (中高部母の会OG)	
三保の森リンガーズ (生涯学習センター)	



新治特別支援学校での演奏奉仕



父親リンガーズ。野尻でデビュー



エバーグリーン (大学)。松本でのチャリティーコンサートに参加

学院全体に広がる活動

した。この大会はハンドベル連盟を持つアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、日本、韓国の六カ国で二年ごと開催されるが、英和のベル部は二〇〇〇年のイギリス大会(バーミンガム)、〇四年のカナダ大会(トロント)にも参加した。このほか、九四年にはドイツへの演奏旅行を行っている。

英和のベルは部活だけに使われているのではない。高一の選択音楽の授業では数時間ベルの実習がある。英和生の半数以上はベルを経験することになる。学校説明会で初めてベルを聞いて、志望校を英和に決めたという話もよく聞く。ハンドベルは学校の一つの顔になっている。生徒の活動のほか、母の会の「ガーネット・リンガーズ」が一九九一年に活動を始め、聖書の集い、クリスマス礼拝など母の会行事での演奏を中心に活動を続けている。九五年からは暮れに東京駅で

行われる「難民のこどもたち救援コンサート」(現在は駅舎改修工事のため中断)に参加した。二〇〇三年には母の会OGグループ「楓リンガーズ」も誕生した。今年の野尻開寮キャンプでは父親たちもベルを試みた。

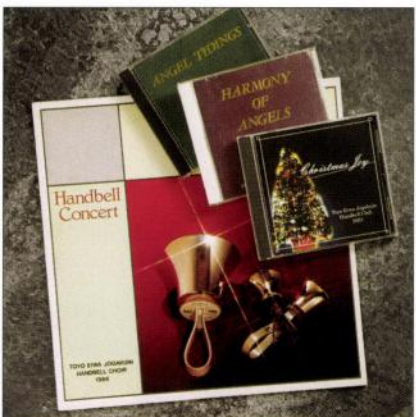
東洋英和幼稚園では九〇年から母の会を中心に新入園母子歓迎会・終業礼拝・祖父母の会といった機会に演奏を行い、小さな子どもたちもベルの音に親しんでいる。

小学部でも六年生が授業でハンドベルを習い、全校礼拝で年四回の奉仕を行う。一回二〇名ずつが演奏するので、一年間で学年全員に奉仕の機会が与えられることになる。「子どもさんびか」から、比較的簡単な編曲のものを演奏している。さらには五・六年生有志が約二〇名で活動する「エンジェル・リンガーズ」という団体もあり、特別礼拝(イースター・ペリテコステ・クリスマスなど)や、全校礼拝、学校説明会、マグノリア・コンサート(音楽会)などで演奏している。

現在、小学部では音楽科の山内桜子先生が指導にあたっている。山内先生は「演奏の上手下手よりも、メンバーが心と息を合わせるということを一番大切にしています。ハンドベルは、一人が抜けるとその人が担当している音がなくなってしまうので、一人ひとりを大切にすることが、一人ひとりを大切にすることが、できる楽器だと思っています。自分の責任を果たすということと同時に、「一音」や「ひとり」の大切さを子どもたちが感じてくれたらと思う指導をしています」と語り、熱心に子どもたちを教えている。

大学のハンドベル部は二〇〇六年から中高のハンドベル部出身者を中心に少数で始められた。礼拝での奉仕が活動の中心であるが、今年は特に七月に松本で行われた信州発国際貢献の会(代表は国際社会学部の滝澤三郎教授)主催のチャリティコンサート「心をつなぐ弦」に松本」という大きな舞台上で賛助出演する機会が与えられた。

また生涯学習センターの講座のひとつ



中高部ハンドベルのレコード・CD

全学院あげてのフェスティバル

として「楽しいハンドベル」が二〇〇六年から始まり人気講座の一つとなっている。「三保の森リンガーズ」と名付けられたグループは礼拝などでの演奏のほか、大学のとなりの老人福祉施設での演奏なども行っている。

英和ファミリーに属する多くのベルのグループが一堂に会して演奏する英和のハンドベルフェスティバルも一九九六年に始まり今年は一四回を数え、年々参加グループが増えている。

多くの部分があっても、それは一つの体であるように(冒頭聖句)、多くのベルをメンバー一人ひとりがそれぞれかけがえないパートとして担当するハンドベル演奏、さらに個性豊かな多くのグループが一つのコンサートとして演奏するのがフェスティバルである。今年はどうな演奏を聴くことが出来るか、十一月七日の開催が待たれることである。

英和のリンガーズ

ハンドベルへの思い

東洋英和では小さな子ども達からOGの方々まで、たくさんのグループがハンドベルを演奏しています。

さまざまな人々を惹きつけてやまないハンドベルへの思いをつづっていただきました。

「ハンドベルフェスティバルに参加して」

佐藤 由麻 (小学部6年)

昨年、私はハンドベルフェスティバルにはじめて出演しました。私の姉もハンドベルを小学部の時からしているので、毎年ハンドベルフェスティバルをみるのが楽しみでした。そのぶ台に私が立つなんて、とても信じられません。ハンドベルフェスティバルが近づいてくると、少しずつきんちょうしてきました。前の日にはドキドキしてねむれないぐらいでした。ハンドベルフェスティバルの日がとうとうやってくると、心ぞうが飛び出しそうでした。でも、実際にぶ台に立つと、少しまちがえただけで上手く演そうできました。ぶ台から父や母や祖母のすがたが見えました。姉は高等部でハンドベル部にいるので、共演できたのも、とてもうれしかったです。来年もしっかり練習してハンドベルフェスティバルに出演したいです。



小学部生と中学生のマス・リングング

「ハンドベルを通して得たもの」

加茂 恵理子 (高等部二年)

現在中高部ハンドベル部は総勢73名。楓祭に向け日々練習を重ねています。夏休みには軽井沢追分寮で合宿も行い、朝から晩までハンドベル漬けの3泊4日となりました。曲の表現についてもあれやこれやと意見を出し合い、時には衝突しながらも皆で協力し支え合い一つの曲を作っていきます。ハンドベルは、メンバーが一人でも抜けてしまうと全体の演奏に影響が出てしまいます。より良い演奏をすることが出来るのは、熱が出たり怪我をしても、それを押し切って練習に出てくれる仲間の支えがあってこそ。皆の呼吸が一つとなり、音がとけあう鳥肌の立つような瞬間を目指し繰り返し繰り返し練習を行います。フレーズ的美しさや躍動感、深みのある音。知れば知るほど奥が深く、特有の澄んだ美しい音色を活かすのが難しい楽器です。しかし、ハンドベルの演奏を通してたくさんの出会いや喜び、達成感を得ることができました。

亀井真知子 (中高部OG 中高部音楽科非常勤講師)

私が音楽を専攻する道を選んだ理由に、ハンドベルとの出逢いが大きく影響しています。ハンドベルは、中高部時代の正に“青春”であったのと同時に、私に大切なことを沢山教えてくれた宝物だからです。音楽をもっと学びたい！そう思うきっかけを与えてくれたのが、“ハンドベル”でした。

母校である英和に講師として戻る幸せを与えられ、今年で5年目となります。現在、私は主に高一選択音楽の授業、そして母の会ハンドベル部、そのOGグループの活動において、ハンドベルの指導をさせて頂いています。

ハンドベルは共に演奏する仲間なくしては、音楽を奏でることができません。一人ひとりが責任感と協力しあう心を持ち、気持ちを一つに演奏することが出来た時、初めて音楽として完成するのです。これこそがハンドベルの素晴らしさであり、最大の魅力だと私は思います。授業で扱う理由は、ここにあるとも言えます。まだまだ未熟な私ですが、これからも私の原点であるこの場所で、ハンドベルの魅力、そして音楽の楽しさ・奥深さをお伝えできるよう精一杯努めて行きたい……そう強く思っています。

ハンドベルをご指導くださっている先生方



【中高部】(左から) 露木美奈子先生 亀井真知子先生 玉瀨麻衣子先生
【学院オルガニスト】 河野和雄先生 (右)



【小学部】 山内桜子先生

奥山 一美 (母の会OG)

母の会会員からなる「ガーネット・リンガーズ」とそのOGの「楓リンガーズ」は、アラフォーから還暦過ぎまでの年齢差があります。亀井真知子先生を中心にその差も忘れ、英和で練習させていただいております。どの様に振れば良い響きが出るだろうか？躍動感あるリズムにしたい！ 反抗期の娘・進学的心配・介護等々を忘れ、学生気分に戻れる至福の一時です。演奏を聴いていただける前はドキドキ、普段通りにできる様祈りつつ、成功すればホッとし、失敗なら落込み慰めあい、時間が経つとその落込みも忘れ次回こそは！！気持ちを切替え基礎練習に励み、その繰返して続けてまいりました。ハンドベルは、協調しあってこそできる楽器です。生徒さん、そのOG、そして母達、皆様気持が良い位その性格を有していらっしゃいます。一堂に会する英和の

ハンドベルフェスティバルは、演奏させていただける楽しみだけでなく、敬神奉仕の下に世代をこえた方々との出会いに感謝致しております。



現役の母の会と母の会OGの方々によるマス・リンギング

市川 麻友 (中高部OG 大学国際交流センター事務室職員)

中学部に入學し、新入生歓迎礼拝で初めて耳にしたハンドベルの澄んだ音色。この出会いをきっかけにハンドベル部に入部し、顧問の河野和雄先生と佐藤順子先生のあたたかいご指導とサポートの下、朝・昼・放課後の練習、楓祭や他の学内行事での演奏、教会等での演奏奉仕、野尻での合宿、2枚のCD録音、カナダでの世界大会…とにかく中高部の6年間、ベルに夢中でした。そして、初めて出会ってから20年以上が経った今、私は、日本ハンドベル連盟のアルファハンドベルクワイアと、聖ヶ丘教会ハンドベルクワイアに所属しています。また、去年はOGとして英和のハンドベルフェスティバルに参加させていただきました。

多くの出会いを与えられ、協調性や責任感を学び、集中力を鍛え、音楽を作る喜びを知る——これらは、ベルを演奏する者が皆経験することだと思います。しかし、ハンドベルを通して賛美や奉仕の機会を与えられ、その喜びを知ったのは、英和だったからこそ。自分のベルのルートが英和であることは、これからはずっと、私の誇りです。



OGと生涯学習グループによる演奏

暗闇の中の名演奏
連盟の関東地区演奏会を旧短期大学講堂で行ったことがあった。舞台を少しでも明るくしようとして照明を増やしたのが間違い、プレーカーが落ちステージは真っ暗。しかし演奏していた筑波大学付属盲学校のチーム、何事もなかったように演奏を続けた。譜面に頼ることの多い他のチームは感心することしきり。停電を演出かと思つたと言人もあった。



道路に響きわたったベル
演奏奉仕の場所へは経費節約のため、自分の車でベルを運ぶことが多かった。あるとき、後ろのドアが開いて大きなベルを道路に落としてしまった。何か音がしたのは気が付いたが、ちょうど鉄琴も載せていたのでその音かと思っていた。次の交差点で後ろの車に注意されてあわてて戻ると、ベルは無残にも袋の中で粉々。そういうえばあの音は良い音であった。それ以来ベルには保険がかかっている。



ハンドベル
エピソードいろいろ
かけがえのないメンバー同士
リンガーは本番を休めない。そのベルはその人しか担当できない。冬の演奏奉仕がインフルエンザの直撃を受けて半分が代理でかろうじて務めたこともあった。熱を押しても参加するメンバー、また骨折した片足を椅子で支えてがんばったメンバーもいた。頭の下がる思いである。

by Kazuo Kohno

第14回 東洋英和女学院 ハンドベルフェスティバル

11月7日(土) 開演 14:00~(開場13:30)

東洋英和女学院中高部 新マーガレット・クレイグ記念講堂 入場無料

今年も恒例のハンドベルフェスティバルが開催されます。小学部、中高部、大学のグループをはじめ、母の会、OG、さらには生涯学習センターの受講生に至るまで、学院に属するハンドベルのチームが一堂に会するハンドベルフェスティバルも今年で14回目となります。是非お出かけください。



あなたのいけた花は一つ一つ なんてすばらしいのでしょう



一九六五年 高等部卒業 福島 光加（福島加寿美）
 中学部在学中に課外授業で山崎新教師から草月いけばなを習う。聖心女子大学卒業後、外国人のためのクラスを六本木ゴトウ花店で開く。現在草月流本部講師として外国人を対象としたインターナショナルクラス、英語でいけばなクラス、大阪家元教室を担当。また海外からの国賓、公賓にいけばなデモンストレーションを行う。国際交流基金、草月会から派遣された国は四〇カ国以上。目黒で個人教室主宰。エッセイ「南米いけばなの旅」で潮出版賞受賞。

あなたのいけた花は 一作
 一作なんて素晴らしいのでしょ
 う。どんなにいけばなが楽し
 いか。情熱をこめて説明して
 いるその姿に 私は 日本語
 はわからないけれど きつと
 この芸術は知れば知るほど魅
 力のあるものなのだろうと感
 じました。

私がいけばなのデモンスト
 レーションを担当した時に、
 国賓として来日したある大統
 領夫人からいただいた言葉で
 ある。ロシア語で通訳され
 にもかかわらず確かに喜んで
 いただけだ、伝わったという
 感触が、早朝からスタッフと
 準備していた疲れを吹き飛ば
 してくれた。
 そんな時、小学部で教えて
 いただいたある先生の姿がよ
 みがえってくる。
 ミス・サンダース。いつも

ブルーのスーツに白いブラウ
 ス、手作りのテキストをかか
 え、オルガンをひいて、一緒
 に英語の歌を歌った。意味も
 わからない一年生に一切日本
 語は使わず、その額にはいつ
 も汗がにじんでいた。何かを伝
 えたのだという思いが子供に
 も伝わってきたのだった。
 私はいけばなを国内で教え
 るほか、海外に派遣され現地
 の花を使っていけたり指導を
 したりする。来日した国賓の
 夫人たちに日本文化の紹介の
 一環として、何もないところ
 からお客様の前で説明を交え
 ながら作品を何点かいける
 （デモンストレーション）をす
 ることもある。そんな時は直
 接自分が英語で説明する場合
 が多いのだが、この英語で伝
 わったのだろうか、楽しんでく
 ださったのだろうかと最後まで
 気になる。国や会場によって

も反応が違い、スタンディ
 グオペーションをいただくこ
 ともある。私にはいけばなと
 いう伝えたいことがある、と
 いうことは幸せだとおもっ
 う。中学生のころ、放課後の墨
 の香りが立ち込める書道室で
 いけばなを教えていただいた
 時は、まさかいけばなを仕事
 にして海外をまわるとは夢に
 も思わなかった。卒業まで所
 属していたのは英語演劇部だ
 が、発音を厳しく直され、舞
 台上で人にどう訴えかけるか
 を意識させられたことが、海
 外でデモンストレーションを
 する今役立つている。帰国子
 女ではない私が、まがりなり
 にも英語で説明ができること
 になっているのは、中心にいけ
 ばなという伝えるものが存在す
 るからだ。語学は手段と割り
 切っているから、舞台上私の
 英語から他の言語に通訳され

るといふ時は、なるべくわか
 りやすい英語を話そうと努力
 する。
 フォークランド紛争真っ只
 中のアルゼンチン、高度四二〇
 〇メートルのポリヴィア、内戦
 のスーダン、女性の地位が宗
 教上日本とは異なるサウジア
 ラビアなどを含め、四〇カ国
 以上をこの仕事で訪れている。
 カナダで英和の幼稚園の卒業
 生というDr.柴田におめにかか
 り、そのおりミス・ロジャ
 ーがご健在なこともうかがっ
 た。表敬にうかがった大使と
 話をしている、幼稚園の卒業
 生だと知り、話がはずんだこ
 ともある。ミス・サンダース
 をとおし、カナダがどんな国な
 のか、さらに海に向こうの人
 たちへの好奇心、私たちとは
 異なった文化への理解・尊重
 する心は英和の生活で種がま
 かれたと確信している。



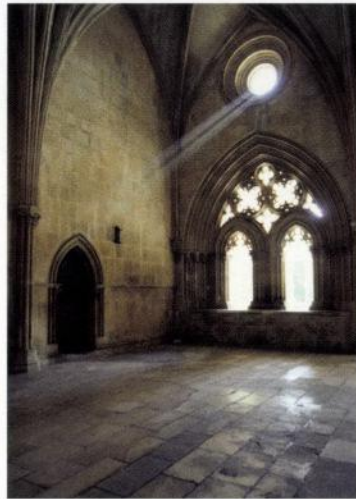
作品集《花だまり》より 1994年 写真：中野義樹
 旧マーガレット・クレイグ記念講堂にて撮影

キリスト・イエスに結ばれていれば、

割礼の有無は問題ではなく、

愛の実践を伴う信仰こそ大切です。

ガラテヤの信徒への手紙 五章¹⁶節



一九七九年二月、三〇歳の私は、メルボルンにあるコーバーク・バプテスト教会で牧師候補として執事会との面接に臨んでいました。百数十年に及ぶ教会の歴史の中で、初めての日本人です。教会員の中には太平洋戦争で家族を亡くした人もいました。私の英語が下手なのはいうまでもありません。よくぞ面接に呼んでくれたと思います。

何を聞かれたか、どう答えかはよく覚えていませんが、私への好意と歓迎の気持ちはよくわかりました。面接の最後に、執事代表から、「兄弟(Brother)、毎週日曜に礼拝説教をしてください。そして、週一回でいいですから教会員を訪問してください。あとはあなたの自由です」という暖かい言葉をいただきました。「愛の実践を伴う信仰」を実感した一コマでした。

大学宗教主任 三上章

早朝からナイスショット！ゴルフ練習場を訪ねました

朝7時半、ゴルフクラブを抱えた学生達が大学のゴルフ練習場に集まってきました。大学ゴルフ部は二部リーグ四位の腕前、女子大としては一番の実力があります。

その彼女達が毎週練習に励んでいるのが、学内のゴルフ練習場です。打ちっぱなしのほかに、芝生の上でアプローチやバンカーの練習ができます。

練習場が設置される前、短期大学時代のゴルフ部員だった卒業生によると、当時は食堂の脇で練習をしたり、ほかの部とグラウンドを使い分けたり、なかなか大変だったようです。しかし、大学開学当時の朝倉孝吉学長が「紳士のスポーツとしてのゴルフ」に大変造詣が深かったことや、安全にゴルフ部が練習できるように検討した結果、ゴルフ練習場が誕生しました。学内にゴルフ練習場を持つ大学はめずらしく、この施設がつくられた時にはテレビや新聞で紹介され、かえりて祭の「打ちっぱなし」も大盛況になったそうです。

設備も二〇年近く経

ってネットを張る器具が消耗したり、夜間照明がないなどの小さな悩みはありますが、ゴルフ部以外にも大学の授業や生涯学習センターの講座で活用され、今日も勢いよく球を打つ音が響いています。



大学ゴルフ部のみなさん。早朝練習には始発に乗って参加するメンバーもいます。ゴルフ練習場で腕を磨いています

緑地管理の池田さん。芝生の手入れやボールの洗浄などでお世話になっています



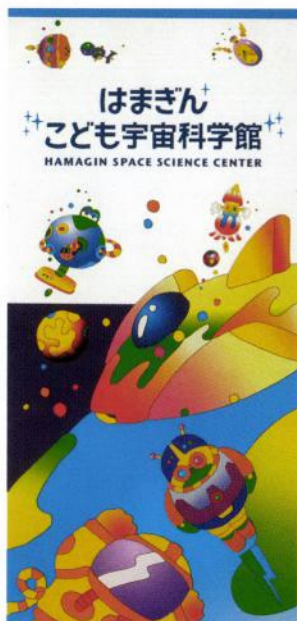
打ちっぱなし、アプローチ、バンカーなど練習パターンもさまざまです

春の親子遠足

—はまぎんこども宇宙科学館—

毎年、幼稚園生活に子どもたちもお母様方も慣れてきた頃、五歳児と四歳児がお母様と一緒に遠足に行きます。今年は五月二十九日（金）、雨が降る中、横浜市洋光台にある『はまぎんこども宇宙科学館』へ初めて出かけました。（今年は数名のお父様の参加もありました。）

遠足当日の朝、幼稚園に一度集まりバスに乗って出発です。バスの中で、子どもとお母様が隣同士で座り、ゆったりとした時間を過ごしました。雨の日ということもあり、『こども宇宙科学館』はたくさんさんの団体が利用していて賑わっていました。地下二階から地上五階まである建物の中で有意義な時間を過ごしました。地下二階には知恵の輪やパズル、一階には子ども用のプログラムも組み込まれているプラネタリウム、二階には雷やオーロラの不思議について、三階には宇宙トレーニング室、四階には光や電気の不思議について、五階には宇宙航行のテクニクを身につける方法が展示されています。中でも、宇宙トレーニング室では、はしごを上ったり、トンネルをくぐりぬけて、次のトンネルを滑る事ができる惑星ジムや、



無重力を感じられる乗り物や体を鍛える事ができる機械があり、子どもたちは大喜び。子どもが遊びたいことに耳を傾け一緒に遊んだり、見守りつつおしゃべりを楽しむお母様の姿も見られました。

今年雨のプログラムとなりましたが、体を動かしたり、宇宙の不思議をからだで感じる機会となりました。子どもとお母様と相談しながら楽しんで一日を過ごす事ができました。子どもたちから「楽しかったー！」「また行きたいな」という声や、お母様方からは「こんな場所があるなんて知りませんでした」「久しぶりに二人でゆっくり過ごすことができました」との声もうかがうことができました。『はまぎんこども宇宙科学館』は年齢を問わず、頭を使ったり、体を動かしたりと楽しみながら宇宙の事を知ることができますよ。みなさんもぜひ行ってみたいかがででしょうか？

夏の風景より

子どもたちは五感を使って、楽しみながら、夏の体験を深めていきます。

六月、庭の梅の実が大きくなり、熟してきます。楽しみにしていた年中組の子どもたちと梅の実を取り、梅ジュースを作ります。



梅もぎ 「あそこにもあるよ！！」
「あっ、おちた！」

梅の実を洗って、
フォークで穴をあけ梅ジュース作り。
「はやくのみたいなあ」



年長組の子どもたちは、近くの畑にさつま芋の苗つけに行きます。



「土をかぶせよう」
「秋が楽しみだね」

梅雨の晴れ間の庭で、絵の具を楽しみます。

「足までぬっちゃった」



七月の終わりにには地域の夏まつりに参加し、好きになったダンスを踊ります。



「ソーラン・ソーラン」

校庭の思い出など

司書教諭 東 夏子

小学部の子ども達との楽しく忙しい生活の中で、普段は昔のことを思い出すことはなかなかありません。久しぶりに私の子どもだった頃、一九七〇年代の校庭のことを思い出してみました。

今、アスレチックがあるところには石のすべり台がありました。下にくのが生えていて、一年生のときにお友達と「てきのこちゃん」という名前をつけて可愛がって(?)いました。黄色くなつたいちよの葉っぱをたくさん集めてすべり台の下に積み、上からすべってその中に突っ込みました。パフッと突っ込む瞬間がとても楽しかったのですが、今の立場ではお勧めできません。小さいかたつむりを集めるのはやって、泰山木の葉っぱの上に乘せて遊びました。当時は、泰山木の横に金木犀の木もありました。いい匂いのする花をハンカチの上に集めるのも好きでした。

校庭のすみには小さな池があつて、低学年の頃に二回も落ちました。担任の先生方のことを考えると、ご心配をおかけしてごめんなさいの気持ちでいっぱいです。今の職員室の前辺りにはセキセイインコのいる大きな小鳥小屋があり、六年生になるとスモックを着て小屋の中に入って掃除する小鳥当番がありました。鉄棒の後ろには、動物小屋があつて、にわと



りや、ひよこがいました。小型のクジャクのような鳥もいたかもしれせん。一度も上まで登つたことのなかつた登り棒。下から見上げると、流行していたリリアンを下まで長くたらしめている人達がいきました。

私はあまり外で遊ばない子でしたが、改めて考えてみるといろいろなことが思い出されます。もちろん、校舎にもたくさんのおもいでがあります。建物は新しく変わつても、そこで過ごした大勢の子どもの思いは今も残つていてと思います。図書室・保健室・図工室で、いつか専科の先生になつて戻つてきたいと六年生の時の作文に書いた夢がかない、こうして小学部の図書室で毎日過ごしています。図書室を整え、居心地の良い居場所にする事によつて、大好きだった懐かしいあの図書室への恩返しをしたい、と願いつつ毎日子ども達と一緒に過ごしています。

内藤寿七郎先生に学んだこと

養護教諭 今井 敏子

私が小学部に就職した折には、内藤寿七郎先生は愛育病院名誉院長でおられた。昭和二〇年代から短期大学の保育科で小児保健を教えておられ、二七、八年から小学部と幼稚園の健康診断や健康相談を引き受けておられたらしい。

春の健診は、耳鼻科、聴力、眼科、視力、歯科、検尿に身体測定がすべて終了し、そのデータをもとに総合健診として小児科健診が実施されていた。小柄な内藤先生はいつもニコニコされた、本当に聞き上手な先生だった。診察時も気がつくことと子どもの手を握られ、腰をかがめて「もしもししていいかい？」と子どもの目をみて真剣にお願いされた。聴診器は自分のほつぺで暖め、顔面の下にある副鼻腔を押さえて耳鼻科領域まで診察なさつた。下肢のふくらはぎ

をぎゅつとつまんで睡眠の質をみられたりもした。首から肩、腕と曲がつた指をすべらせながら「立派立派」「上等、よく育つた」と皮膚や骨や筋肉を確認なさつた。常に体を全体的に把握なさり、睡眠、食事、排泄することの大切さと、妬み



やイライラを発生させないように気にかけられた。

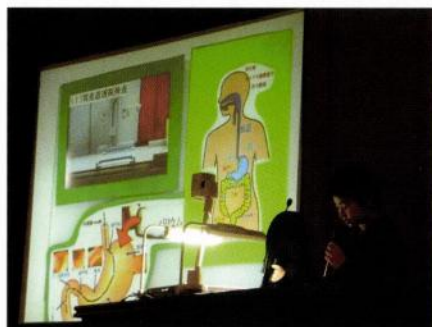
大人が子どもを信頼して向き合えば、子どもは人の気持ちを察し、信頼に応えようとする思いやりのある人に育つと言われ、子どもにも無心に邪心なく信じ寄りそい、目をみて「○○しようね」「○○できるよね」と一生懸命お願いなさる先生の姿が忘れられない。先生は二一世紀を戦争のない、子どもが大切にされる世紀になるよう念じておられた。九六才まで喜んで来校され、丸一日他の先生と同じペースで診察してくださった(肥後もつこす)の先生、「己のためが一つもない」と褒めてくださった先生に出会えたことが三〇余年になる仕事の原動力になっている。二〇〇七年一月二二日に、イチ

ニ、イチニ、と一〇一才で天国に旅立たれ幼稚園と小学部に多大なご寄付まで頂いた。五〇年にも亘る英和との交流に心から感謝申し上げ、英和に連なる者一同が先生を忘れないで、子どもにおもねらず信頼して接する者になりたいと思います。

2月にロールモデルドキュメンタリーとしてプレゼンテーション

夏冬2回の訪問取材を通して理解した仕事の内容を書画カメラを用いて発表し合いました。パワーポイントを用いてのプレゼン手法をまだ習っていない中3が使用するメディアとしては書画カメラが丁度良かったようです。「○○○○の仕事、拝見！」といったプレゼンになるわけですが、筋書き表に従って説明していく中で資料や写真を上手に使っているグループが幾つもありました。中には、子どもニュース風にフ

リップや矢印などを自ら作成し聴き手の理解を助けたり、パフォーマンス的要素を取り入れて聴き手の気を引いていた優れたグループもありました。クラス発表(全3回)で一押しグループが選抜され、中2も一緒に聴く中で大講堂にて学年発表が行われました。



プレゼンテーション用の資料

アンケートに寄せられた生徒の声

●夏の職場訪問・取材

- ・ひとつひとつの仕事は誰かのためにやっているんだと思った。
- ・自分の知らない世界に足を入れられた。
- ・案外面白かった。

●冬の職場訪問・取材

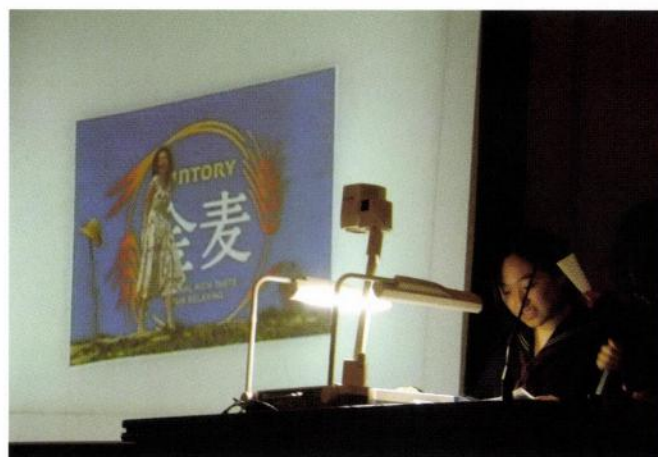
- ・夏の訪問でもう聞くことがないと思ったがもっと知ることができた。
- ・自分が将来どんな仕事に就こうかと真剣に考えようとする意欲がわいた。

●ロールモデルドキュメンタリー発表

- ・色々な職業を自分で訪問したような気持ちになれた。
- ・色々な職業に興味を持てた。
- ・色々なプレゼンテーションの仕方があることを知った。
- ・調べたものを表現するのが難しかった。
- ・発表をすることで色々な仕事の詳しいことを知ることができた。

●1年間の活動を通して、学んだこと、考えたこと

- ・この3年間で一番自分の将来について考えられた1年だと思った。
- ・自分の将来のことを考える良いきっかけになった。適当に考えるのではなく計画を立て、努力することが大切だとわかった。
- ・社会人になることの大変さを少しは理解できた。
- ・社会に出て働くということの責任の重大さにふれ、また、自分には何ができるのだろうかという関心が深まった。
- ・人に取材をする際には、事前に色々調べる必要があることを痛感した。
- ・知っていると思っていたものでも一部しか知らなかったのが、きちんと調べることの大切さを感じた。
- ・一つの会社でも色々な人との関わりがあって成り立っているとわかった。
- ・どんな仕事もやりがいがある感じがして楽しそうと感じた。沢山の努力も必要だと感じた。
- ・どの道に進んだ人もキラキラしていたので、自分も本当につきたいと思える仕事を選びたいと思った。
- ・社会で自分がどう活躍できるのか考えた。
- ・一つの職場を深く調べることで、職業についての関心が前よりも高まった。



最後に

やはり単発で終わるのでなく、通年での探求プログラムにしたのは良かったと思います。ある一つの仕事の現実に継続的に関心を寄せたこの取り組みが、role(社会的役割)として仕事を捉えさせ、近い将来、自分もどういうroleやmission(使命)のもとで仕事を選択していくのか、という進路選択の主要な観点として結びついてほしいと願うものです。また、2人~4人のグループでの取り組みにしたところには、立案・実施・報告までの一連の作業を通してグループダイナミックス的な教育効果が得られたことも付け加えておきたいです。今後益々重視すべき点と考えます。最後に、この取り組みの、とりわけ職場訪問受け入れにあたっては、生徒の保護者の方々に多大なお骨折り、ご協力を頂きましたことを深謝申し上げます。

中3総合学習

職場訪問を冬にも、そしてロールモデルドキュメンタリーのプレゼンテーションへ

経緯

「職場訪問」は〈社会を知る〉学習の手法として中等教育段階において様々に試みられてきました。本校でも中3から始まる進路学習の一つに位置づけて、また、中3の総合学習「共に生きる—社会の中で—」に位置づけて行われてきました。夏休み中にグループ毎に職場を一カ所訪問し、体験や取材をした上で休み明けにロングホームルームの時間に報告するというものです。生徒たちは現実的な職場の様子にいきな

り触れて、それぞれに一定のインパクトを受ける機会にはなるのですが、その一回のインパクトをその後の探求の動機付けにどう繋げるかが課題となっていました。職場訪問から学ぶプログラムを夏休み明けで終わらせるのではなく、一年かけての探求プログラムに発展させてみては…との思いから、冬の時期に同じ職場を再度訪問させることにしたのです。

訪問取材を冬にも

これまで夏休み明けに発表させていた「報告会」は、あくまで中間報告の披露会にし、夏休みの体験・取材の様子を知り合うことが相互刺激として働き、時には「駄目出し」となっており、冬の再度訪問に向けて探求を深める契機になるよう願ったのです。中には「夏休みの訪問取材で全部聞いちゃった…」と平気で言い切るグループもありましたが、「どんな職業であれ、一回訪問取材しただけで全部知り尽くしたということはありません！」と言い返して突っぱねました。浅薄な一瞥や聞きかじりに留まるか、少しでも深い理解へと進むか、ここが分かれ目だと実感しました。夏に訪問した時の自分た

ちの無理解度と同じ程度のみで再度訪問するのなら、それは訪問される側にとっては無意味な「つき合わされ」でしかなく、迷惑でしかないことを肝に銘じるよう生徒たちに迫りました。再度訪問する自分たちは、どのような関心・質問をぶつけるのか、第一印象のインパクトが除去されたところでどのように学びを深めるのか、そしてこの再度訪問を終えてその仕事をどのようにプレゼンを通して伝えるのか、まさに冬の再度訪問取材は「峠」の意味を持つ活動であったと言えます。

2008年度 職場訪問先一覧

1組 訪問先	
1	ソニーピクチャーズ
2	日立製作所 新宿事務所
3	入江株式会社〈専門商社〉
4	日本テレビ通りクリニック (診療放射線技師)
5	東京ディズニーランドホテル
6	TBSテレビ
7	樫の木総合法律事務所
8	近所の生花店、生花市場
9	フジテレビ ドラマ制作センター
10	みずほ銀行 六本木支店
11	美容室 ULTRA C
12	東洋英和女学院大学付属 かえで幼稚園
13	ヤマノミュージックサロン東銀座

2組 訪問先	
1	新潮社 (記者)
2	NHK放送センター
3	フォーシーズンズホテル (アシスタントレストランマネージャー)
4	日興シティホールディングス
5	フードコーディネーター
6	帝京大学病院 (医師)
7	TBS (プロデューサー)
8	小学館 (女性誌編集者)
9	学校カウンセラー
10	船橋中央病院 (医師)
11	サントリーホール企画室 (チーフコーディネーター)

3組 訪問先	
1	J-WAVE (ラジオ局)
2	高橋犬猫病院
3	スタイリスト
4	フランス料理店
5	医療法人社団けいせい会 東京北部病院
6	フランス語講師
7	関口総合法律事務所
8	三峰産業株式会社 (ビル管理)
9	信澤事務所 (フォトグラファー)
10	常盤台バプテスト教会付属 めぐみ幼稚園
11	ニッポン放送 日比谷本社
12	日本マクドナルド インフラシステム本部 (システムコンサルタント)
13	金沢文庫 (主任学芸員)

4組 訪問先	
1	NPO国境なき子供たち
2	社会福祉法人敬仁会 ル・ソラリオン葛飾
3	三菱UFJ信託銀行 年金コンサルティング部
4	イラストレーター
5	自由が丘テニスカレッジ
6	エイベックス
7	NHK (ディレクター)
8	TV朝日 (アナウンサー)
9	東洋英和女学院大学付属 かえで幼稚園
10	東京高等裁判所
11	あずさ総合法律事務所
12	落合第五幼稚園

5組 訪問先	
1	飲食店 ferice
2	関口総合法律事務所
3	生花店 大門「花正」
4	テレビ朝日
5	パンバード・パウズ (トリマー)
6	弁護士
7	電通
8	JAL (客室乗務員)
9	東海大学付属東京病院
10	天王洲アイル 小川歯科 (歯科医)
11	ルートロニアスカ (調光器)
12	関東学院大学
13	気象予報士



大学創立二〇周年記念式典

人間科学部教授 島 創平

二〇〇九年六月二十七日（土）、東洋英和女学院大学創立二〇周年記念式典、並びに第一回東洋英和女学院大学名誉教授授与式が、大学の横浜キャンパス五二〇一教室で行われた。当日は幸い梅雨の晴れ間に恵まれ、少々蒸し暑かったが、退職してから久しぶりにお会いする先生方もお迎えして、まず午後一時から、創立二〇周年の記念式典が、礼拝形式で挙行された。前奏、讃美歌に続いて詩篇第一二一篇が朗読され、吉岡良昌宗教主任の祈禱に続いて、鮑戸弘学長が二〇年の大学の歩みを回顧する式辞を述べ、その後池田守男理事長・院長、横山巖後援会会長、新村麻里奈楓美会会長による祝辞が続いた。最後に讃美歌、三上章宗教主任による祝祷、後奏、その後全員で校歌を斉唱して、記念式典は閉じられた。



ジェラルド・L・カーティス氏（コロンビア大学政治学教授）による記念講演



鮑戸 弘学長による式辞

引き続き午後二時から、第一回の名誉教授授与式が行われた。今回は二四名の先生方に名誉教授の称号が贈られたが、そのうち出席された一九名の先生方お一人おひとりに、鮑戸学長から名誉教授の称号記が記念品と共に手渡された。中には足元が多少ご不自由になられた先生もおられたが、清楓会とかえで祭実行委員会の学生が先生方に付き添った。

その後二時三〇分頃から四時まで、コロンビア大学政治学教授のジェラルド・L・カーティス氏をお迎えし、「政治という『窓』からみる日本社会と文化の特徴」という演題で、記念講演会が行われた。国政選挙も間近と予想された時期だったので、大変興味深く、充実した内容で、学生からの質問もあり、有意義な講演会であった。

その後会場を新横浜プリンスホテルに移して、名誉教授授与記念祝賀会が開かれた。



池田理事長・院長による祝辞



学生達も式典に協力しました

『大学20年史』について

人間科学部教授

岡本 浩一

大学の二〇年は平坦な年月ではなかった。設置の後も、臨時定員増、文部省の大綱化方針への対応、大学院設置、大学院の臨床心理士養成大学院の指定取得、二学部の新設と廃止決定など、めまぐるしく多くの変遷を経てきた。それらの変遷は、大小多くの細かな方針策定や変更を伴い、さまざまな形の歪みや矛盾や犠牲も発生し、その残像が現在に影を落としている部分もある。

よりよき将来を見据えるための「年史」は、限りなく正直で正確なものでなくてはならない。設置以来、なかんずか公開されたこれまでの「大学史」は、その点、そのときどきの価値観にそって、重要な細部が些少されたり、価値判断的に無理があったことが否めない。

個人でいえば成人にあたる「20年史」は、その意味で、これまでの光と影をなるべく率直に記録するものにしたとと考えている。編集委員会には、大学の設置そのものに関わった教員、短大吸収に関わった教員、設置直後から奉職している教員、着任二年に満たない教員とバランスのよい陣容になっており、その意味で、正直で正確な年史を編集するのに適した顔ぶれになっている。

東洋英和女学院大学は一九八九年（平成元年）に設立され、本年度「創立二〇周年」を迎えることになりました。この二〇周年を記念して、去る六月二十七日、大学横浜キャンパスにおいて、「創立二〇周年記念式典」、「創立二〇周年記念講演会」と合わせて、「第一回名誉教授授与式」を行うことができました。

名誉教授制度については懸案の課題として数年前から検討は続けてきたのですが、ようやく二〇周年を記念して本年四月一日より発足することになりました。

本学名誉教授制度の規程は「大学に教授として一〇年以上勤務し、学問研究、教育活動、社会貢献等で、顕著な活躍をした者に授与する」となっております。

また残念ですが、すでにご逝去された方、定年以前に退職された方は除かれます。

創立以来献身的にご尽力を下さり、国内外に本学の名を高めて下さった二四名の先生方に、今回、その業績を讃え、名誉教授の称号を授与することができました。授与式の当日は夕刻より、「名誉教授授与記念祝賀会」が和やかに行われ、ご出席下さった皆さんも、懐かしい、楽しいひと時を持つことができました。ご報告します。

【名誉教授一覧】

- | | | |
|---|---|--|
| 小林 政吉 教育哲学
人間科学部 人間科学科
一九九七・三・三一退職 | 赤羽 忠之 家庭教育論
人間科学部 人間科学科
二〇〇三・三・三一退職 | 中林 隆明 図書館文化史
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇八・三・三一退職 |
| 逸見 謙三 農業経済学
社会科学部 社会科学科
一九九九・三・三一退職 | 浜辺 達男 キリスト教思想
人間科学部 人間科学科
二〇〇三・三・三一退職 | 原島 正 キリスト教思想家
人間科学部 人間科学科
二〇〇九・三・三一退職 |
| 辻村 江太郎 日本経済論
社会科学部 社会科学科
一九九九・三・三一退職 | 香西 泰 日本経済論
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇三・三・三一退職 | 山本 和代 社会教育学
人間科学部 人間科学科
二〇〇一・三・三一退職 |
| 牟田口 義郎 地域研究
社会科学部 社会科学科
一九九九・三・三一退職 | 早川 史郎 幼児音楽
人間科学部 人間科学科
二〇〇五・三・三一退職 | 新富 英雄 英語学
人間科学部 人間福祉学科
二〇〇九・三・三一退職 |
| 倉林 義正 経済統計学
社会科学部 社会科学科
二〇〇〇・三・三一退職 | 安中 章夫 地域研究アジア
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇六・三・三一退職 | 高野 陽 小児保健
人間科学部 人間福祉学科
二〇〇九・三・三一退職 |
| 中村 隆英 日本経済史
社会科学部 社会科学科
二〇〇〇・三・三一退職 | 陶山 義雄 キリスト教
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇七・三・三一退職 | 眞理 ヨシコ (佐藤美子)
幼児音楽
人間科学部 人間福祉学科
二〇〇九・三・三一退職 |
| 荒木 昭太郎
地域研究ヨーロッパ
社会科学部 社会科学科
二〇〇一・三・三一退職 | 山岡 清二 時事英語
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇七・三・三一退職 | 太田 良子 英文学
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇九・三・三一退職 |
| 塚本 哲也 地域研究ヨーロッパ
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇三・三・三一退職 | 塚本 榮一 情報教育
人間科学部 人間科学科
二〇〇八・三・三一退職 | 黒岩 徹 地域研究ヨーロッパ
国際社会学部 国際社会学科
二〇〇九・三・三一退職 |



大学新役職者紹介

国際社会学部学部長 増田 弘



本学部では不透明性を増す国際社会の現状を踏まえ、一体何が問題の本質であるのか、その問題をどのように解決したらよいのかなど、内外の課題や理念に積極的かつ主体的に取り組む学生、また社会貢献を志す女性を育成したいと考えている。

本年四月一日をもって東洋英和女学院大学は創設二〇周年を迎えることができた。創立当初を知る一人として感慨深いものがある。この節目に当たり、国際社会学部の学部長を仰せつかったことに改めて重責を感じざるをえない。とりわけ来年度の二〇一〇年度から国際社会学部は、これまでの社会システム専攻が「国際社会学科」へ、また国際コミュニケーション専攻が「国際コミュニケーション学科」へと昇格し、一学科から二学科体制へと生まれ変わる。そして一学年の学生定員も各一二〇名、計二四〇名へと四〇名増加する。そこで今回の学部改革に若干触れることで学部長就任の挨拶に代えさせていただきたい。

そのため、新「国際社会学科」は、国際関係論・国際政治学・国際経済学・国際社会学といった学問領域を中心に学ぶカリキュラムを置くと同時に、グローバル化が進む中でメディア媒体による報道や情報網の拡大・拡散を踏まえたメディア関連科目を配している。他方、新「国際コミュニケーション学科」は、アジア・アメリカ・ヨーロッパ・中東など特定の地域研究と、海外で日本を紹介できるような日本文化研究の学問領域を中心とするカリキュラムを組むとともに、国際語である英語による円滑なコミュニケーション能力を養って国際社会で活躍できるように体制を意図している。

このようなニュー国際社会学部に注目いただき、多くのご支援を賜りたいと願っている。

副学長

国際社会学部教授

池田 明史



昨年この欄に学部長としてプロフィールを載せたばかりなのに、再度登板して今度は副学長としての御挨拶をしなければ

ならない仕儀となりました。前回申し上げていたように、この三月末で「年季が明けた」後は、専門領域である中東和平その他の研究第一線に復帰する予定でした。しかしながら、大学の置かれた厳しい状況に鑑み、また鮑戸学長の就任時にその任期を全力で支えると大見得を切っていた手前、引き続き執行部にとどまるようにとの御懇請に応じることとなった次第です。「年季明け」を手ぐすね引いて待ち

構えていた研究者仲間やお役所関係者には、平謝りの毎日。それでもなかなか仕事は減りませんが…。

名称は仰々しいですが、副学長とは要するに学長補佐であり、学長の個別特定の諮問に应答するスタッフないしブレインの役割を担います。何よりもフットワークが大事。生来の「腰の軽さ」を活かして、学長の手足として一年間の任期を全うしたいと思っております。

副学長

人間科学部教授

村上 哲朗



新年度を迎える学内の春先は、各委員会役職者の人選やメンバー張り付けやら、学長としても大変な時期でもあります。私は、大学行政などとはとんと縁のな

い道をのほほんと歩いていましたから、この度の学長からの副学長指名は全くもって青天の霹靂といましようか、「何をおっしゃっているんだ」と耳を疑った次第です。折しも丁度入試の真っ最中、入試委員長として何かミスでもしてかして呼びつけられたのかと思っていたからです。「私が副学長なんて、英和がダメになる」「こりゃ、まいった！」そういつている間に半年が経ってしまいました。せめて、英和の名を汚さず、学長に恥を

かせないよう補佐が出来ればと思う毎日です。一九八六年短期大学横浜校地移転の年に保育科に配属となり、保健体育科目担当として十一年、生涯学習センター専任教授として四年を経て、二〇〇一年四月に人間科学部に加えて頂いて八年、英和二四年目を迎えています。学長からは、対外的な広報担当として動いてほしいといわれています。学長としては珍しく失敗人事ですが、英和の力になれればと密かに思っています。

追悼 五十嵐 修教授

国際社会学部教授 望月 敏弘

今年の三月二〇日、大学では例年のとおり、卒業謝恩会が都内のホテルで催されました。東洋英和の学生らしく、抑制されたなかにドレスや着物を華やかにまとった卒業生たちにむかえられ、私たちはにぎやかな歓談のひとつを共有しました。

当日の夕刻、病気療養のために休職中であつた五十嵐先生は、いつもと変わらぬ飄々とした様子で、私たち教職員の前に姿をお見せになりました。たしかに杖は用いていらしたけれど、足取りやお言葉から、その場にいあわせた教職員には一様にほっと安堵する気配が感じられました。事前に、五十嵐先生からは、参加のご意向を伺ってはいましたが、痛みのことなど、お体の不調についても少しお聞きしていたので、個人的には、実現するかどうか気がかりでもありました。しかし、五十嵐先生は体調をととのえ、ゼミ卒業生たちからのたつての願いに、きちん

と応えました。

日本の大学はいま、少子化の影響、活力を失った経済状況を背景に、どこも入学者を確保して存続していくために、ぎりぎりの自己改革を迫られています。本学も、中長期的に考えると、楽観するとはゆるされません。ここ数年、五十嵐先生とともに、お互い学科主任の立場から、二〇一〇年実施の大学改革案作成にかかわってきました。お嬢さんが本学院の中学生でもあり、六本木の中高生を視野にいれたご意見はとても貴重でした。完成した国際社会学部の改革案には、五十嵐先生が強く望まれた英語教職を設置する方向が示されています。

あの謝恩会から一ヵ月もたないうちに、訃報は私たちに届けられました。東洋英和への復帰はかないませんでした。が、五十嵐先生は大学の将来を穏やかに見守っていてくださると思います。ご冥福をお祈りいたします。



五十嵐 修教授

一九五七年生まれ。一九八〇年早稲田大学第一文学部西洋史専攻卒業。同大学院文学研究科修士課程を経て、一九八九年同大学院博士後期課程単位取得満期退学。トリアー大学（旧・西ドイツ）留学後、一九九二年東洋英和女学院短期大学国際教養科専任講師を経て、二〇〇七年東洋英和女学院大学国際社会学部教授。著書に『地上の夢・キリスト教帝国―カール大帝の「ヨーロッパ」』ほか、専門はヨーロッパ中世史。二〇〇九年四月一七日永眠。

現代史研究所よりお知らせ

(1) 現代史研究所 (編)

『なぜ世界で紛争が無くならないのか』

(講談社α新書) の出版

定価 960円 2009年6月刊行

昨年度の連続研究講座「世界の危機と紛争」(計7回)が単行本になりました。

(2) 2009年度連続研究講座

主題: 「グローバル化が変える? "世界像"」

●10月13日 16:30~「地球環境を救うことはできるのか?」

阪口 功 (学習院大学法学部教授)

●11月19日 16:30~「人口移動、移民、難民」

滝澤 三郎 (本学国際社会学部教授・前国連大学客員教授)

●12月「グローバル化とメディア」

町田 幸彦 (本学国際社会学部教授・前毎日新聞社編集委員)

皆様ふるってご参加ください。

□会場 東洋英和女学院大学 (横濱)

□参加費無料 □申込不要

□問合せ先 現代史研究所 TEL 045-922-5511 (代表)

死生学研究所 2009年度

<公開> 研究会・連続講座・「生と死」研究会のご案内

10月17日	16:20~17:50	第4回 連続講座	浅井 篤	熊本大学大学院医学薬学研究部教授	映画における医療と死生観
10月24日	14:40~16:10	第8回 「生と死」 研究会	宇都宮輝夫	北海道大学教授	共通テーマ 死生観を学ぶ
	16:20~17:50		藤腹 明子	仏教看護・ ビハラー学会会長	(財)国際宗教研究所と の共催
11月28日	14:40~16:10	第2回 研究会	葛西 賢太	宗教情報センター 研究員	死者を代弁して語る こと
	16:20~17:50	第5回 連続講座	鈴木 範久	立教大学名誉教授	中勘助の生と死

□会場 東洋英和女学院大学大学院 (六本木)

□参加費無料 □申込不要 □当日先着順100名様

□問合せ先 死生学研究所

FAX専用 03-3583-4035

shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

同窓生子女枠特別推薦入学試験

大学ではすべての学科で、東洋英和女学院の大学・旧短期大学・中学部高等部卒業生のご息女、お孫様もしくは在学学生のご姉妹を対象とした試験を実施します。

建学の精神・教育理念に賛同し、深い理解を示す方々を受け入れることによって、本学独自の学風を継承し、発展させるための一助とする入試制度です。

※学生募集要項は無料で配布しています。

<問合せ先・資料請求> 入試広報課 TEL 045-922-5512

卒業関連費用について

2008年度6月の楓美会総会にて、2010年度より、4年次の前期学費と同時に徴収する卒業関連費用について、以下のとおり変更することが決定しました。

同窓会費 入会金5,000円 (変更なし)

30年会費 30,000円 (10年会費10,000円から変更)

卒業アルバム費 15,000円 (変更なし)

計 50,000円

ご協力よろしくお願いたします。

「東洋英和楓の会」設立まで

本学院はカナダ婦人宣教師ミス・カー
トメルによって一八八四年に創設されま
した。当初生徒二名、教師四名をもつて
の開校でしたが、以来一二五年の間、学
院は「敬神奉仕」のキリスト教精神に基
づく「女子教育」を推進し、今や幼稚園
(二施設)、小学部、中学部・高等部、大
学・大学院までも備えた学院へと成長発
展し、現在の園児・児童・生徒・学生数
は四三〇〇名余に、同窓生は二万余名に
達しております。

その同窓生たちは家庭において、また
社会的には教育・学術・医療・報道・商
業・産業・経済・法曹・政治・芸術・文
化・スポーツ・福祉・宗教・奉仕活動等
の場において、東洋英和の精神と愛校心
をもって、誠実に生き、人生の課題と使
命に取り組み活躍していらつしやいま
す。これらの方々が共にこの会に連なり、
相互の情報交換や各自の賜物をもって
協力し合う土壌を培うことを「東洋英和
楓の会」(以下「楓の会」)は目指してお
ります。

「楓の会」は池田守男理事長・院長が
東洋英和幼稚園の男子卒業生や、お孫さ
んが東洋英和で学んでいるという方にお
会いした機会に、それらの方々が一緒に
東洋英和への特別の思いを語られること
に感動し、「皆様と共に学院をさらに発

展させたい」という思いを抱いたことが
契機となりました。また、お嬢様が学院
をご卒業されると保護者の方やご親族は
東洋英和と直接の関係が途切れてしま
う、東洋英和を応援したいのに、その機
会がないのが寂しい限りであるというお
声が多数寄せられていたこともあり、そ
うした方々の思いに応えたいということ
から「楓の会」は構想され、設立の準備
が始まりました。

その後、同窓会や、後援会の責任者の

方々の積極的なご理解をいただき、二〇
〇八年二月に第一回設立準備会を開催し
ました。以後、五月まで準備会を重ねて、
ご出席いただいた同窓会、後援会、中高
部母の会の責任者の方々や学院各部代表
者と、「楓の会」をどのような組織にす
るか、活発な議論を行いました。その結
果、「楓の会」は同窓会、後援会などの
諸団体や個人を統括する連合組織とする
ことになりました。ここでは従来別々に
活動してきた団体や個人は、今後「楓の

会」の会員となりますが、しかし、それ
ら各団体と諸活動はこれまで通り固有の
各会組織体と目的と自主的働きをしつ
かり保持し発展することが「楓の会」にお
ける在り方です。これからは折にふれて
各活動の様子も学院報「楓園」などを通
して広くお知らせするなど、オール東洋
英和としての一体感を共有し、「敬神奉
仕」の精神に根ざすお互いの活動を共に
進めていきたいと願っております。

二〇〇八年五月の学院理事会・評議員
会において設立が承認され、翌六月の後
援会役員会・総会で、「楓の会」を運営
する当面の資金を後援会が提供してくだ
さることが決まりました。その後、二〇
〇八年九月からは学院の主たる代表者を
構成員とする楓の会企画推進委員会を開
催し、「楓の会」の正式な発足に向け、
規約の制定、パンフレットの作成・送付、
顧問や役員を選定等準備を進めてまいり
ました。

そして、去る八月二九日(土)に、多
数の顧問・役員の方々のご出席のもとに
「楓の会設立式」が行われました。なお
「楓の会」規約や会運営を行う役員組織
等につきましては、「楓の会」会報誌第
一号でご紹介する予定です。

(文責 東洋英和楓の会)

東洋英和楓の会 設立式・懇親会プログラム

開催日：2009年8月29日(土)

🌸 礼 拝 (新マーガレット・クレイグ記念講堂にて)

🌸 設立式 (新マーガレット・クレイグ記念講堂にて)

- ・ 会長挨拶
- ・ 設立経緯の説明
- ・ 審議事項
- ・ 祝辞
- ・ 校歌合唱

🌸 懇親会 (国際文化会館にて)

- ・ 開会挨拶
- ・ 祝辞
- ・ 閉会挨拶

楓の会設立式開催

八月二十九日(土) 和やかな雰囲気のもと、楓の会設立式・懇親会が新マーガレット・クレイグ記念講堂および国際文化会館で開催されました。



山北 宣久牧師の祝祷



佐藤 順子高等部部長の司式



深町 正信牧師のご祝辞



池田 守男理事長・院長の会長挨拶



中高部合唱部のリードによる校歌合唱



横山 巖後援会会長のご祝辞



懇親会での顧問 宗國 旨英様のご祝辞



懇親会での鮎戸 弘大学学長・副院長の開会挨拶



懇親会での顧問 芦田 淳様のご祝辞



石川 和子同窓会会長の閉会挨拶



池田 守男理事長・院長と歓談中の顧問 橋本 五郎様

追悼 速水 優氏 ― 召命のままに ―

学院監事 元常務理事 元高等部部長 黒川 信也

速水優氏が本学院に役員として関わられた時期は、多事多難の連続でありました。八六年短期大学横浜校地への移転に始まり、大学創設の検討・立案、大学の開学、大学院創設、短期大学の廃止、三期にわたる中高部校舎の全面改築等、次々に重複する事業計画、内容の整備、更に運営に支障なく対応しなければなりませんでした。

随想の中で、親しい友人の方々を著名な経済学者A・マーシャルの名言「クールな頭脳、しかし温かい心」と評しておりましたが、それはそのまま氏に相応しい言葉と思います。

「土の器」の聖句をお若いころから座右の銘とされており、「土の器をあえて用い賜う方が、足らざるを補い、力を与えてくれることを信じて」努力したいと述べておられます。

すでに実業界に転身され、総合商社のトップとしての日々、九一年からは経済同友会代表幹事の責務を担っておられた時期に当たります。月例の常務理事会は、早朝に開催していましたが、海外出張の折を除いては殆ど毎回出席され、言葉数は多くありませんが、鋭い見解また要点の指摘等印象深いものでした。

「受験勉強と偏差値教育に塩漬け」の環境の下では「個性豊かなリーダー」、社会に有為な人材の育成は困難であると、教育の内容・実践にも深い関心をお持ちでした。

また、日本経済が危機的な状況にある時、金融政策のかじ取りを担うこととなり、幾多の困難に遭遇しつつも、任を全うされた背景には、R・ニーバーの言葉を折りの心としておられたようであります。「:変えることのできるものについては変えるだけの勇気を、変えることのできないものについては受け入れるだけの冷静さを:」

天与の召命として生きることを貫かれた姿勢に強く惹かれます。

哀惜の念に耐えませんが。



速水 優氏

一九二五年生まれ。日本銀行に入行、理事を経て、日商岩井社長、会長。一九九一年経済同友会代表幹事、一九九八年第二八代日銀総裁に就任（二〇〇三年三月まで）。本学院では一九七九年監事、八一年より九八年まで（総裁就任の直前まで）理事・評議員、その期間の殆どは常務理事。二〇〇三年再び評議員に就任。阿佐ヶ谷教会会員。二〇〇九年五月一六日召天。

三英和懇談会が開かれました

今年もカナダ・メソジスト教会によって設立された学院が集う、三英和懇談会が七月二五日（土）に本学院で開催され、静岡英和女学院・山梨英和学院の代表者とともに、本学院からも池田守男理事長・院長をはじめ各部代表者が出席し、総勢二九名が一堂に会しました。

懇談会では各学院の現状と課題についての報告ののち、四部門に分かれての分団協議が行われ、活発な意見交換がなされました。今年プロテスタント宣教は一五〇周年を迎え、その節目の年に有意義な話し合いを持つことができました。



池田守男理事長・院長が「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞

多年にわたる男女共同参画社会づくりに向けての功績が認められ、池田守男理事長・院長が六月二六日、総理官邸で表彰されました。毎年一〇名ほどの方が受賞されますが、池田先生は、数少ない男性受賞者のお一人でした。

中高部モバイルサイトを開設

携帯電話のモバイルサイトで東洋英和女学院中高部の案内が見られるようになりました。東洋英和の「伝統と歴史」「英和の特色」をはじめ、「公開情報」「入試情報」「アクセス」といった情報が掲載されています。学校案内もご覧になれます。



こちらのQRコードよりアクセスしてください。

訃報

心より哀悼の意を表します

五十嵐 修氏

大学教授

二〇〇九年四月一七日

速水

優氏

現評議員、

元常務理事、

元理事・評議員、

元監事

二〇〇九年五月一六日

東洋英和
幼稚園

●お別れ会 3月4日(水)

卒園する五歳児のために、四歳児がゲーム係や、おやつをいただくホール飾り付け係を担当し、楽しい会をもちました。四歳児が作ったコルクボードを、五歳児の子ども一人ひとりにプレゼントしました。

●卒業式 3月12日(木)

●入園式 4月14日(火)

今年度は、新しい園長先生と共に四一名の子どもたちを迎えました。

●新入園母子歓迎会

4月30日(木)

新しく幼稚園に入った子どもたちとお母様、進級児と一緒に五歳児のお母様によるハンドベルの演奏や布絵本の公演を楽しみ、手作りのカップケーキをいただきました。

●歯磨き指導 5月14日(木)

●春の遠足 5月29日(金)



新入園母子歓迎会—布絵本の公演—

大学付属
かえて
幼稚園

●卒業式 3月20日(金)

入園式 4月10日(金)
保護者と共に卒業と入園を覚悟の礼拝をしました。

●イースター礼拝(在園児・小学生)

4月13日(月)

礼拝を守り、卵さがしを楽しみました。

●ワークの日Ⅰ 4月25日(土)

木工やペンキぬりをしました。

●園外保育

4歳児 4月28日(火)

5歳児 5月12日(火)

3歳児 5月26日(火)

三・四歳児は親子で近くの公園に出かけました。五歳児は大学の広い校地の中をたくさん歩きました。

●母の日礼拝 5月11日(月)

四・五歳児は礼拝を守り、三歳児は母子ランチとふれあい遊びの時をもちました。



5歳児園外保育(大学校地にて)

小学部

●卒業式 3月17日(火)

六年間の思い出を心に刻み、八〇名の卒業生が中学部へと巣立ちました。

●入学式 4月9日(木)

花のアーチをくぐって、八〇名のかわいい新一年生が入学しました。

●イースター礼拝

4月15日(水)

張田真牧師(鳥居坂教会)から「イエスさまのおよみがえり」という題でお話を伺いました。

●健康診断 4月20日(月)

●小羊会総会 4月27日(月)

四・六年生が集まり、よりよい学校生活を目指して話し合う時をもちました。

●遠足 5月1日(金)

低学年 明治神宮
中学年 小金井公園
高学年 子どもの国



1年生 春の遠足

中高部

●卒業式 3月18日(水)

●中学部入学式 4月7日(火)
●中1オリエンテーション前後期 5月11日(月)～15日(金)

●高二修学旅行

5月11日(月)～15日(金)

今年度から行程を少し変更し、阿蘇草千里、熊本城、浦上天主堂での礼拝、柳川川下り、英和の校歌が飾られた北原白秋生家を加えました。長崎での平和学習がメインで、被爆者の方からお話を伺いながらの遺構めぐり、原爆資料館の見学など学びの多い旅行になりました。

●高三修養会

5月11日(月)～13日(水)

天城山荘にて岩田昌路牧師(狛江教会)から講話をいただき、ディスカッションをしました。



高二修学旅行—被爆者の方との遺構めぐり—

大学
大学院

(大学)

●卒業式 3月19日(木)

人間科学部三七八人、国際社会学部二二四人が、卒業しました。

●入学式 4月2日(木)

人間科学部四〇七人、国際社会学部二五五人が入学しました。(編入学生を含む)

●オリエンテーション合宿

5月20日～21日 国際社会学部

5月21日～22日 人間科学部

南房総富浦ロイヤルホテルにて。今年度は、新型インフルエンザという心配事がありました。今年も、三、四年生に参加してもらったことが好評でした。

(大学院)

●学位授与式 3月21日(土)

人間科学研究科、国際協力研究科
●入学式 4月4日(土)

人間科学研究科、国際協力研究科



オリエンテーション合宿、帰りのバスにて

英和の植物通信

～目を近づければ楽しさ無限～ No.17

絵・文・写真：中池 敏之

(大学非常勤講師：博物館概論等担当)



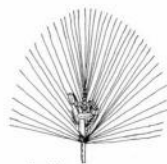
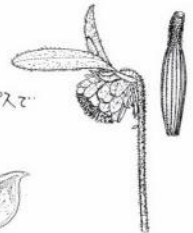
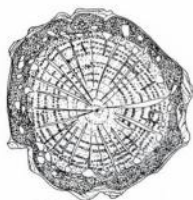
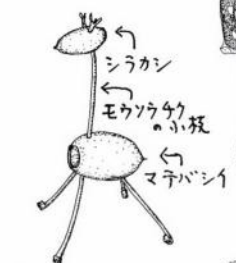
クヌギ (横浜キャンパス)

クヌギ (櫟、栲、杼、柞、櫟、栲、櫟)

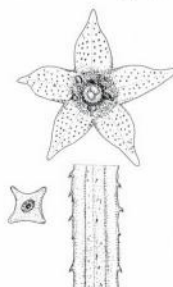
秋、クヌギのドングリが落ちて、硬い地面に当たる時は随分と大きな音をする。その音を聞くのは楽しい。

このドングリを拾って、コマを作ったり、ヤジロベエの両翼の重りにしたりするのは、子ども達の楽しみである(あった)。かつて出かけたニューギニアの子ども達もドングリのコマを作って遊んでいた(線画参照)。

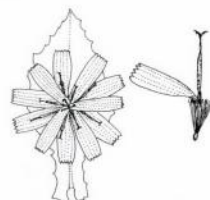
クヌギは『魏志倭人伝』、『日本書紀』、『万葉集』などにも登場。建材、食料、染料として利用された。横浜キャンパスには縄文時代の住居跡がある。当時もクヌギが生えていて、縄文人もドングリの落ちる音を聞いていたのだろう。



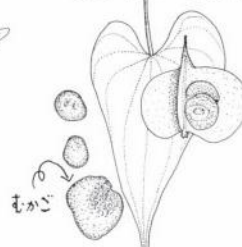
オギ ススキに似るが穂はずっと豪華。



アカネ 花の表面の腺点の輝きが見事。



ヤクシソウ この時期、林下での黄色の花は存在感あり。



ヤマノイモ 葉に行く「むかご」は食べて美味しい。

文化祭のお知らせ

●中高部 楓祭
10月23日(金)～10月24日(土)
9:00～16:00(受付15:30まで)
*受験希望者の小学生と付添いのご家族の見学は可能です。当日、受付にてお申し込みください。
*個別の入試相談コーナーがあります。

●大学 かえで祭
10月31日(土)～11月1日(日)
10:00～16:00
*進学相談会を実施します。専任教員・在学生による個別相談、資料配布などを行います。

東洋英和女学院学院報 楓園 第57号

発行日：2009年9月10日
編集：広報委員会
発行：学校法人 東洋英和女学院
東京都港区六本木5-14-40
TEL 03-3583-3325
メールアドレス
koho@toyoeiwa.ac.jp
ホームページアドレス
http://www.toyoeiwa.ac.jp

先輩達からの賜物を忘れず、かつ若い同窓生にとっても魅力ある英和らしい同窓会となるよう努力するつもりでおります。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



吉岡邦楽社による演奏



2009年度後援会役員
会長 横山 巖 (継続)
副会長 金子栄一 (継続)
安藝祐一 (退任)
神谷直彌 (継続)
小林 宏 (継続)
石川 栄 (継続)
小泉光人 (新任)
永澤宏一 (退任)
岡田基宏 (新任)

総会では池田守男理事長・院長のご挨拶があり退任する安藝副会長・永澤会計監事へ学院より感謝状が授与されました。各代表者の先生方より現状報告がありました。

二〇〇九年度同窓会総会―六月六日
東洋英和女学院の六つの同窓会が、総会を同日に開催するようになって三年目を迎えました。当日、各会の総会に続き全員が新マーガレット・クレイク記念講堂に集まり礼拝を捧げました。
総会は出席者二二二名で定足数に達し議事が承認されました。その後、吉岡もと子さん(卒業生)と夫君吉岡龍見氏の吉岡邦楽社による、琴、尺八、歌の共演で演奏会が開催され、邦楽の素晴らしさを堪能しました。

二〇〇九年度後援会総会・役員会
二〇〇九年度後援会総会・役員会がANA インターコンチネンタルホテル東京にて開催されました。会員の出席者数は計三三名でした。総会に先立ち役員会が行われ、①退任・新任の副会長と会計監事の承認と挨拶②二〇〇八年度決算報告③二〇〇九年度予算案などが審議され、すべて承認されました。
総会では池田守男理事長・院長のご挨拶があり退任する安藝副会長・永澤会計監事へ学院より感謝状が授与されました。各代表者の先生方より現状報告がありました。

同窓会より

後援会より